



かみぎょう

6/15

市民しんぶん 上京区版

今月のピックアップ記事

- 緊急避難の際に一人ひとりが気をつけること(2面)
- 「新しい生活スタイル」を実践しましょう(4面)

上京区ホームページ 上京区役所 検索

避難行動判定フローを 事前にチェックして災害時に備えましょう!



この度の感染症拡大防止に向けた皆様のご協力に感謝申し上げます。雨の多い時期に備えた災害時の行動を、今一度、ご確認ください。

京都市長 門川 大作

新型コロナウイルス感染症が終息していない“今”のタイミングで、もし水害等の災害が発生したら。一人ひとりが自覚と思いやりを持って行動することが、感染拡大や混乱等をくい止めるために必要不可欠です。この機会に改めて“自宅の災害リスク(危険性)”と“とるべき行動”を確認してください。

区総合庁舎
2階②1番窓口
で配布しております。



避難行動判定フロー～あなたがとるべき避難行動とは?～

まずは、ハザードマップ(被害予測地図)で自分の家がどこにあるか確認しましょう。京都市のハザードマップは右記を確認ください。

自宅がある場所に色が塗られていますか?
※色が塗られていない場所でも水害が起こる可能性があります。

いいえ

原則、避難不要です

はい

水害の危険があるので、
原則として自宅以外に避難が必要です

例外も
あります

はい

安全な場所に住んでいる親戚や知人はおられますか?

はい

親戚や知人宅に
避難しましょう

いいえ

各学区で開設している
指定緊急避難場所に
避難しましょう

※浸水の危険があっても、次の3つ全てを満たす場合は、**自宅に留まり安全確保をすることも可能です。**

- ① 洪水により家屋が倒壊又は崩落してしまう恐れの高い区域の外側である
- ② 浸水する深さよりも高いところにいる
- ③ 浸水しても水がひくまで我慢できる、水・食糧などの備えが十分にある

※土砂災害の危険があっても、十分頑丈なマンション等の上層階に住んでいる場合は、**自宅に留まり安全確保をすることも可能です。**

☎=地域力推進室総務・防災担当(☎441-5029)

誰一人取り残さない～お互いを尊重し、支え合いましょう～

外見からは分かりにくい障害や病気、初期の妊娠状態等、特に『援助や配慮が必要な方』が所持し、自身の状態を周囲に知らせるマークです。お互いを配慮し、誰もが安心して暮らせる、温かいまちづくりに役立っていただけるよう、一部をご紹介します。



2面に
続きます!

マタニティマーク

→妊娠初期は、お母さんや赤ちゃんにとって大切な時期です。妊婦さんが交通機関等を利用する際に身につけ、周囲に妊娠中であることを伝えやすくなるためのマークです。



ヘルプマーク

→内部障害等、外見からは分からなくても援助や配慮を必要としていることを知らせ、援助を得やすくするためのマークです。ハートは周囲に配慮を求める意味が込められています。



耳マーク

→耳が不自由であることを自己表示するためのマーク。聞こえが不自由なことを表すと同時に、聞こえない人・聞こえにくい人への理解やコミュニケーションの方法への配慮を表すマークです。



☎=障害保健福祉課(障害難病支援担当)(☎441-5121)、子どもはぐくみ室(子育て相談担当)(☎441-2873)

絆で織りなす 住みよいまち上京

区総合庁舎の来庁者用駐車場(7台のみ)は、車いす利用者等のご利用を除き、終日有料コインパーキングとなっています。ご不便をお掛けしますが、ご来庁の際は公共交通機関をご利用ください。